

2008年(平成20年)1月16日(水曜日)

中国人学生を幹部に養成 技術系など2コース

産業施設
富士開発
南新

屋根・外壁工事の南富士産業(静岡県三島市、杉山定久社長)は中国の学生を企業の幹部として養成する事業で、技術系などの2コースを新設した。同社が開設した私塾で半年間、技術経営の手法や事業、組織の運営力を身に付けてもらう。卒業後、日本のメーカーや中国の日系企業に送り込み育成料を受け取る。

新コースは南富士産業が武漢、北京などで運営する塾「グローバル・マネジメント・カレッジ(GMC)」の一環。中国東北部のハルビンに技術系学生を対象とした「テクノロジー・マネジメント・カレッジ(TMC)」、大連に日本語のコミュニケーション能力に重点を置いた「ジャパニーズ・マネジメント・カレッジ

(JMC)」を設けた。TMCはハルビン工業大学の学生十人、JMCは大連外国語学院から十七人が入塾した。

向上心が旺盛な中国人学生を企業の即戦力として育成、紹介するGMCには現地の日系企業から引き合いが多い。これまで九十五人を企業に送り込み、現在は約五十人が在籍。在籍者数を百人に増やすのが目標だ。